

北方対策本部 令和6年度 予算のポイント

令和6年度予算額 **16.8億円**

令和5年度予算額 17億円

(対前年度比 19百万円減、99%)
※人件費の自然減等

重点課題

- ① 若者によるこれからの時代に適した啓発手法の開発及び展開
- ② 元島民の高齢化への対応
- ③ 着実な国民世論の啓発（特に若い世代への啓発）

主な事業

● 北方領土啓発次世代ラボ（19百万円）

- 若者による次世代に向けた啓発手法の開発。いくつかの具体的事業（一般の若者による元島民の声を伝える語り部等）を実施するとともに、得られた知見・手法等をマニュアル化する。



● 北方領土ストーリーテリング・デジタルアーカイブ構築等

（23百万円）＜新規＞

- 多角的な資料を視覚的に連携させてストーリーを描き出し、当時の社会・生活等を様々な角度から直感的に訴えかけることができる仕組みを設けたシステム。令和5年度より構築に向けた検討を開始。令和6年度は設計・開発準備。

● ネット動画等を活用した情報発信による広報啓発強化（73百万円）＜新規＞

- 広告動画、ショート動画、長編動画等、多様な年齢層や個人の北方領土問題への関心度に応じた広報啓発の情報を発信。

